

地域公共交通確保維持改善事業(新モビリティサービス推進事業)・事業評価

令和6年1月15日

補助事業者名:長岡市

評価対象事業名:公共交通データ化推進事業

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
【現システムの機能追加及びGTFS、GTFS-RTデータの生成】 ・バス位置データの登録により、地図上からの停留所検索及びGTFS、GTFS-RTデータの生成を可能とする。また数年後のFOMA回線サービス終了に備え、LTE回線の交換を行う。 ・利用者画面については、運行中の車両に加え、運行予定の車両について表示を追加。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	現行のシステムにバス位置情報データを登録することで、地図上からバス停の位置が検索できる機能を追加。またGTFS及びGTFS-RTデータを生成し、システムからの出力を可能とする。通信回線については、FOMAからLTEに交換した。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
A	バス位置情報データの登録については既に完了し、3/1の新システムリリースに合わせ、GTFS及びGTFS-RTデータを生成し、出力できるよう作業を進めている。通信回線の交換については概ね12月中に完了した。
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
現在のバス位置情報システムについては、市民の認知度が低いため、新機能追加により利便性が向上したことを新システム開始と合わせ、チラシ、ポスター、ホームページ等で周知していく。また生成されたGTFS、GTFS-RTデータを活用し、Googleマップからの経路検索を可能としたリアルタイムな情報を提供できるよう作業を進めていく。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された
 B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。
 C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

- A: 事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)
 B: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)
 C: 事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)